

番号	課名	グループ名
E - 8	農林振興課	生産振興グループ

事務事業名	集落営農等担い手に関すること（青年就農給付金事業）						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-22	農林業の経営基盤強化と担い手育成							
	関連施策名 (施策コード)	IV-10-21	雇用の確保・就労支援							
基本項目	事業内容 (経緯)	農村地域が抱える「人」と「農地」の問題解決に向けて、また地域の担い手となる新規就農者の確保と営農定着を図るため、就農から経営が安定するまでの間（独立自営就農から最長5年間）給付金を支給することにより支援を行うものです。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値	
					H25	H26	H27			
		①	新規就農者確保の取組み	新規就農相談会の開催（出展）回数	回	1	4	6	13	12
		②								
③										
④										
事業対象	個人農家 (就農時に45歳未満の自営農業者)	成果	給付金の支給により、新規自営就農者の生活及び経営安定を図ることにより、就農者の定着と産地の維持ができます。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値		
				H25	H26	H27				
	新規就農者数 (自営農業者)	企業雇用や親元就農ではない新規自営農業者数	人	8	11	14	12	14		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	54,208			52,334			1,874

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		給付金制度により、就農者を確保し定着させることができました。
		A	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		技術や資金面から発生する新規就農者の経営（離農）リスクを抑えることができました。
A		A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない		
効率性	行政資源量（特にコスト）に対し合った効果があるか		法令の改正により所得制限に関する要件が変更され、経営向上への意欲を新規就農者に持たせることができました。	
	A	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題	給付決定の要件として、対象者が「耕作地域における今後農業の担い手」として位置づけられる必要があり、地域として新規就農者を受け入れ支援していくという雰囲気醸成や、良好な関係の構築が継続して必要です。また、就農者の農地の確保及び住宅の確保が今後の大きな課題です。			
前年度の改善案	就農後も継続的に指導のできる地元生産者（先輩農家）とのマッチングを重視し、「産地全体」で新規就農者を支援していく体制を強化します。また、農業分野に限定せず、移住の先輩など他分野の人材や移住担当課とも連携した支援を行います。			
具体的な改善案	地元先進農家の下で研修するファーマーズスクールの制度も確立されつつあり、今後は新規就農者の農地及び住宅の確保のため、農地情報及び空き家情報の収集を行います。			

課長評価	現状のまま継続する（継続）	理由	人・農地プランに位置づけられた新規就農者の初期の経営安定対策として有効であり、引き続き取り組みを行います。
------	---------------	----	---

番号	課名	グループ名
E - 9	農林振興課	生産振興グループ

事務事業名		活力あふれる園芸産地整備事業（野菜対策）					新規・継続 ソフト・ハード	継続 ハード		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-22	農林業の経営基盤強化と担い手育成							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	農村における高齢化や後継者不足により園芸品目の生産面積が減少していく中、農業の担い手である認定農業者の規模拡大や新規就農者確保のため、本事業を活用しハウス施設、省力化機械、集出荷施設等の整備を行います。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値	
					H25	H26	H27			
		①	補助対象農家数	受益を受ける農家戸数	戸	103	109	99	42	
		②	補助受益面積	受益を受ける栽培面積	ha	46	54	54	11	
	③									
	④									
	事業対象	農業者	成果	栽培施設・機械の導入による栽培体制の効率化および共同貯蔵施設による出荷体制整備により、安定した農家経営につながりました。						
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値		
				H25	H26	H27				
		推進品目の栽培面積	ピーマン、ニラ、いちご、甘藷、甘ネギの栽培面積	ha	69	70	78	83		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	34,538			22,124	3,100		9,314

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		野菜の栽培面積を拡大するためにはハード整備が必要です。農業の担い手である認定農業者、新規認定就農者を対象としており、今後の臼杵市農業の振興に効果があります。
		A	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		面積拡大による生産量増加、機械等による作業省力化・効率化や品質向上が見込め、生産者の所得の向上が図れます。
A		A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		事業実施により推進品目の栽培面積、販売額が拡大しています。	
	A	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題	戦略品目であるピーマン、かんしょ等を中心に面積拡大を進めてきましたが、有用な圃場整備が進み新規の土地の確保が難しくなってきました。			
前年度の改善案	事業受益者の経営安定を図るため、関係機関と連携して適切な情報の共有、進行管理によりスムーズな事業実施に努めます。			
具体的な改善案	今後の面積拡大用地の確保に向け、耕作放棄地や引退する農業者の圃場の活用及び効率的な情報収集体制の整備が必要です。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	本事業の対象品目(ピーマン、にら、イチゴ等)は、県の戦略品目であり、また、市の振興品目でもあり、面積の拡大や機械導入による省力化などにより経営の安定が図られます。
------	---------------	----	---

臼杵市 事務事業評価シート
(平成 28 年度)

番号	課名	グループ名
E - 10	農林振興課	生産振興

事務事業名	中山間地域等直接支払交付金						新規・継続	継続		
	ソフト・ハード	ソフト								
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	IV-11-22	農林業の経営基盤強化と担い手育成							
	関連施策名(施策コード)									
基本項目	事業内容(経緯)	中山間地域の農地の保全と水源涵養を目的として、地域(集落)での農地の管理・維持を行う計画をもとに協定を締結し、面積と活動内容に応じた交付金を交付します。平成27年度からは、4期対策として31年度まで実施し、2年目です。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値	
					H25	H26	H27			
		①	協定集落数	協定を締結する集落数	箇所	14	14	15	15	17
		②								
③										
④										
事業対象	集落協定参加者	成果	集落協定に基づく活動により、中山間地域の農用地と関連施設(農道・水路)が適切に管理されました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値		
				H25	H26	H27				
	協定農用地面積	傾斜度 水田1/100以上 畑 8°以上	ha	94	94	96	102	100		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	14,818		7,115	3,557			4,146

評価の視点	評価	判断基準		理由	
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か			交付金の活用により、協定農用地のみならず、農道・水路の管理や景観作物の植付がされ、環境保全にもつながっています。
		A	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない		
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか			耕作放棄地の発生予防にもつながり、地域の活性化にも寄与しています。
A		A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない			
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか			中山間地域の農用地を地域で適切に管理が行われることにより、地域の活性化と自然災害の予防も期待できます。	
	A	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない			
事業の問題・課題	集落内での高齢化により、地域リーダーの担い手が不足しています。				
前年度の改善案					
具体的な改善案	集落内での話し合いを活性化し、集落内での新たなリーダーの養成を行います。				

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	中山間地域の条件不利地域における農地や農業用施設が交付金を活用して維持管理できており、地域の活性化や環境保全が図られている。
------	---------------	----	--

番号	課名	グループ名
E - 11	農林振興課	生産振興

事務事業名	臼杵市茶産地育成事業							新規・継続	継続	
								ソフト・ハード	ハード	
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	IV-11-22 農林業の経営基盤強化と担い手育成								
	関連施策名(施策コード)									
基本項目	事業内容(経緯)	(株)伊藤園との産地育成協定のドリンク茶専用茶園80haを目指し、ドリンク茶専用工場の整備に対し補助を行いました。ドリンク茶以外についても茶園面積の拡大に補助を行いました。1番茶の霜害対策として防霜設備整備等に補助を行いました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値	
					H25	H26	H27			
		①	防霜施設整備面積の増加60ha(1期事業分)	茶園の霜害の解消面積	ha		26	48	58	60
		②		既存防霜設備H15~25	ha	18				
③	遊休農地(畑)の未然防止100ha	茶園面積(遊休農地の未然防止面積分)	ha	80	81	82		90		
④	省力機械導入	乗用型茶園管理機(累計)	台	6	7	7		13		
事業対象	農業者	成果	ドリンク専用工場の稼働により、加工委託に伴う市外への運搬等経費が削減され、安全で効率的な製品出荷が出来るようになります。茶園での霜害抑制が期待され、作業の省力化による経営安定につながります。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値		
				H25	H26	H27				
	産地化の確立105ha	茶園面積(累計茶園面積)	ha	85	86	88	88	105		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	24,539		14,210	6,157			4,172

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		防霜対策・茶の新植は、安定した経営及び茶園管理の省力化に必要な事業です。
		A	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		遅霜対策は、収益の7割程度が見込まれる1番茶の荒茶単価維持のためには有効で、茶園管理の省力化が図られます。
A		A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		茶園経営の初期投資が続くため、経営の圧迫は考えられるが、公的資金の活用や補助事業の活用および関係機関による経営指導により、効率的な事業になるよう努めます。	
	B	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない		

事業の問題・課題	平成26年度からの農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業での防霜対策は3カ年の継続事業となっておりますが、自己資金の調達の関係で事業実施年度を1年延長することとなります。
前年度の改善案	ドリンク専用茶の防霜対策は、平成29年度で終了することとなります。茶園の面積拡大については、計画的に行って行きます。
具体的な改善案	29年度以降の防霜対策については29年度初旬に計画策定の見込みです。

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	茶園面積105haの達成に向け、新植による面積拡大と併せて、防霜対策の実施により品質向上を図り、経営の安定を目指します。
------	---------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(平成 28 年度)

番号	課名	グループ名
E - 12	農林振興課	生産振興グループ

事務事業名	集落営農等担い手に関すること（大分県地域育成型就農システム支援事業）						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-22	農林業の経営基盤強化と担い手育成							
	関連施策名 (施策コード)	IV-10-21	雇用の確保・就労支援							
事業内容 (経緯)	市の振興作物（ピーマン、露地野菜）について就農研修制度（専用の研修施設での研修、地元農業者の下での研修）を整備。臼杵市における将来の担い手確保、市の振興作物の生産振興、市外からの移住による定住人口の増を図ります。									
基本項目	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値	
					H25	H26	H27			
		①	新規就農者確保の取組	新規就農相談会の開催 (出展)回数	回	1	4	6	13	12
		②								
	③									
④										
事業対象	個人農家 (おおむね50歳未満)		成果	就農後の継続的なサポートが期待できる市の振興作物の研修により、経営の安定と地域への定着を図りました。						
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値		
				H25	H26	H27				
		市外から移住した新規就農者数 (自営農業者、家族を含む)	企業雇用や親元就農ではない新規自営農業者数	人	2	11	9	6	15	

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	3,538			899			2,639

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない		産地の基盤強化、担い手の確保、定住人口の増加を図るため必要である。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない		27年1月からの1期研修を経て、3組の就農者を確保し定着させることができた
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない		今後、公社やJAなどの農業関係機関への移管が検討されるべき	

事業の問題・課題	本事業には県内でも各市が取り組んでいるが、市の直営であるのは本市のみである。資材費等の精算方法についても、他の生産者と異なる対応をJAにお願いしている状況である。また、今後の指導者確保も課題である。
前年度の改善案	県・JAを交えた「事務局会議」を定期的に関催し、課題の共有と研修スケジュールの確認を行った。また、部会青年部の協力の下、技術面の他に生活面も含めた支援を行う。
具体的な改善案	先進農家の下で研修できるファーマーズスクールの充実が図れたが、研修生の就農後のフォローアップを行なうことにより、就農後の不安を取り除く。

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	市農業の将来を担う者として、市外から意欲ある新規就農希望者を確保し、その就農に向けた支援をすることで、農業振興と定住促進を図る。
------	------------------------	----	--

番号	課名	グループ名
E - 13	農林振興課	生産振興グループ

事務事業名	農業後継者就農促進事業（アグリ起業学校）						新規・継続	継続		
	ソフト・ハード	ソフト								
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-22	農林業の経営基盤強化と担い手育成							
	関連施策名 (施策コード)	IV-10-21	雇用の確保・就労支援							
事業内容 (経緯)	臼杵市アグリ起業学校の農業機械を含む施設整備及び就農コーチを配属することにより、農業研修生がより実践的な研修を受講できるよう受入れ体制を整え、研修生がスムーズに独立就農に移行できるよう就農支援を行いました									
基本項目	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値	
					H25	H26	H27			
		①	研修生受入組数	アグリ起業学校に入校した研修生組数	組	-	3	2	3	3
		②								
	③									
	④									
事業対象	就農研修生	成果	研修生が農業機械などの動作研修も行なうことができ、スムーズに独立就農できる体制が整いました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値		
				H25	H26	H27				
	研修後の就農組数	研修終了後、臼杵市で就農した研修生の組数（毎年）	組	-	-	3	2	3		

コスト 事業費+人件費	フルコスト（千円）	内訳	国庫補助金（千円）	県補助金（千円）	市債（千円）	使用料・手数料・その他（千円）	一般財源（千円）
	7,782						7,782

評価の視点	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A：適応している B：一部適応していない C：適応していない	就農者の確保は、定住促進のみならず地域の担い手確保対策として重要である。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A：期待したとおりの効果がある B：期待したほどの効果が見られない C：効果が少ない	農業担い手の確保とあわせて定住者の確保ができる。
	効率性	行政資源量（特にコスト）に対し合った効果があるか	A：効率的に効果が出ている B：改善の余地がややある C：効率的に効果が出ていない	定住者の職業（農業）もあわせて斡旋できる。
	事業の問題・課題	市外からの就農者の居住地及び就農地の確保並びに専任研修コーチの確保が課題		
前年度の改善案	空き家バンク事業などが充実することにより、就農時の居住地を確保する。			
具体的な改善案	県、JAと連携し就農コーチの確保を行なうことが急務である。また、居住地確保の対策としては移住・定住担当課と連携をとり、空き家バンク事業の充実を図る。就農地の確保については農業委員会、JA等関係機関と連携し、就農可能な農地リストの作成が必要である。			

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する（重点継続）	理由	新規就農希望者への就農支援策として重要であり、市農業の担い手として育成支援が必要です。
------	------------------------	----	---

番号	課名	グループ名
E - 14	農林振興課	農政Gr

事務事業名	経営所得安定対策等（直接支払）推進事業							新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-22	農林業の経営基盤強化と担い手育成							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	交付金を活用した転作推進のため、市内の水田営農者の作付計画を収集管理し、直接支払となる経営所得安定対策等事業の交付金申請手続きに関する事務補助などを行う、臼杵市農業再生協議会を運営するための事業です。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値	
					H25	H26	H27			
		①	地域農業再生協議会における規定の会合実施回数	協議会の幹事会・総会等の実施回数	回	4	4	4	4	4
		②	「営農計画書」の配布・回収数	協議会把握の水田営農者数（水田0データ除く。）	件	2,567	2,570	2,562	2,557	1,500
	③	活用推進説明会等開催数	説明会等の開催数	回	2	2	2	2	1	
	④	事業交付金活用件数	交付金の申請種類ごと累計	数	669	895	858	888	250	
事業対象	水田・畑作（戦略作物）農家	成果	加工用米や飼料用米、麦・大豆などの戦略作物等による転作推進を目的とした交付金等の最大限活用を推進してきたところ、交付総額が前年比で285万円の増となり、農家所得の維持・向上に貢献できたと考えています。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値		
				H25	H26	H27				
	経営所得安定対策等交付金額	経営所得安定対策等交付金額	千円	112,386	122,470	122,946	125,796	100,000		

コスト 事業費+人件費	フルコスト（千円）	内訳	国庫補助金（千円）	県補助金（千円）	市債（千円）	使用料・手数料・その他（千円）	一般財源（千円）
	12,012		6,648				5,364

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	経営所得安定対策関連交付金の有効活用のため、地域農業再生協議会を運営し、特徴ある産地づくりや農業者の所得向上を目指すことは、地域内農業者のニーズに十分合致していると考えます。	
		A	A：適応している B：一部適応していない C：適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	国の交付金制度を推進し、需要に則した作付け促進をすることは、米穀類の価格安定及び地域内農家の所得増加に効果があると見込んでいます。	
A		A：期待したとおりの効果がある B：期待したほどの効果が見られない C：効果が少ない		
効率性	行政資源量（特にコスト）に対し合った効果があるか	地域農業再生協議会の運営事務も多様化しつつある中で、専門的な知識・技術を持つ人的資源が恒常的に不足し、効率的な運営や農業者のサポートの面で、改善の余地が残ります。		
	B	A：効率的に効果が出ている B：改善の余地がややある C：効率的に効果が出ない		
事業の問題・課題	生産調整（減反）政策とともに主食用米の交付金も廃止となり、交付金対象件数や交付金額は減少を免れない見込みとなっています。そのような中でも引き続き実施される転作推進関連の交付金については、農業再生協議会へ活用の期待が課せられている状況であるため、地域内農家の所得向上に繋がるような国庫交付金の有効活用を図っていく必要があります。			
前年度の改善案	定常業務を補助する非常勤等公務職員の固定配置が望ましいですが、難しい場合は、担当職員の更新時期を繁忙期である1月～10月を避ける形にすることで、健全運営が期待できます。万全な事務運営体制を構築することで本交付金制度の遺漏なき活用推進が見込めます。			
具体的な改善案	臼杵市全体での農業推進施策を踏まえた転作推進にも繋がる交付金活用の取組について、減少見込みとなる交付金枠を最大限に有効利用しながら、地域内農業の継続的な発展や農家所得の向上に資する施策を長期的視点で計画していけるよう、農業公社などの専門知識・技術のある組織等と連携し、研修など人事研修・交流などを行うなどの専門知識や経験を備えた事務局体制づくりが必要と考えます。			

課長評価	現状のまま継続する（継続）	理由	生産調整（減反）政策は廃止となるも、転作関連の交付金は続くものであり、農家所得の向上のため引き続き事業推進を行う必要がある。
------	---------------	----	--

番号	課名	グループ名
E - 15	農林振興課	農政グループ

事務事業名	地域農業経営サポート機構育成事業						新規・継続	新規		
							ソフト・ハード	ソフト		
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	IV-11-22	農林業の経営基盤強化と担い手育成							
	関連施策名(施策コード)									
基本項目	事業内容(経緯)	平成28年度より担い手不在集落の解消として取り組むために、市内の農業生産法人等により構成し活動している「うすき農尊協同組合」を中心に「地域農業経営サポート機構」を設立し、事務所運営及び担い手不在集落に対する支援活動費に対して平成30年度まで補助を行うものです。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値	
					H25	H26	H27			
		①	作業受託面積	地域農畜経営サポート機構が主体となって作業受託(経営も含む)する農地	ha	-	-	-	0.0	25
		②								
	③									
④										
事業対象	地域農業経営サポート機構	成果	平成28年10月末から活動を開始したため、今年度は事務所の設立及び市内への周知活動を行ってきました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値		
				H25	H26	H27				
	担い手不在集落の数	担い手のいる集落/全体集落(233集落)	%	-	-	-	34	50		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	7,548			3,629			3,919

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		農村の豊かな環境を保持していくためにも、担い手不在集落の解消は進めていかなければならない重要な課題であるので、必要性は高いと考えます。
		A	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		初年度でもあり、事務所の立ち上げが無事に終わり、さらに啓発活動にも取り組んでおり、認知度が上がってきていると考えます。
A		A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		限られた運営費の中、効率的な運営が行われています。	
	A	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題	平成29年度の運営費については、全額大分県と臼杵市からの補助があったが、翌年度は、事業費の2/3、翌々年度は事業費の1/2と補助率が減少していくため、自主財源の確保が急務となります。			
前年度の改善案	-			
具体的な改善案	大分県中部振興局と共に、定期的に執行状況の把握に努め運営状況に対して助言及び支援をしていく必要があると考えます。中部振興局の相談員やうすき農尊協同組合の役員を交えて、定期的に事業の進行状況などを協議する機会を設けます。			

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	農家の高齢化に伴い、担い手不在集落の増加が危惧される中で、集落支援や担い手支援を行う組織として支援が必要です。
------	------------------------	----	---

番号	課名	グループ名
E - 16	農林振興課	農政グループ

事務事業名		農地中間管理事業					新規・継続	継続		
							ソフト・ハード	ソフト		
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	IV-11-22 農林業の経営基盤強化と担い手育成								
	関連施策名(施策コード)									
基本項目	事業内容(経緯)	大分県農業農村振興公社が農地の出し手と受け手の間に入って農地の利用権設定を行い、次世代の農業の担い手に農地の集約・集積を目的とした事業で、その事務手続きを受託しています。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値	
					H25	H26	H27			
		①	農地中間管理事業説明会回数	事業実施のための地域の説明会開催数	回		1	7	12	10
		②								
	③									
④										
事業対象	農用地地権者・農業者	成果	高齢化や過疎化による遊休農地や将来的な耕作放棄地の増加防止を図り、継続的な農地利用が行えるよう、13haの利用権設定のうち8.3haを次世代の農業の担い手に農地集約することができました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値		
				H25	H26	H27				
	農地中間管理事業実施農地面積	事業実施農地面積	ha		20	58	13	100		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	10,079		3,208	1,853			5,018

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	持続的で力強い農業の実現のため、農地の集積や担い手の確保が重要な問題となっており、問題を解決するための対策が必要となっています。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	地域の中で中心となる担い手を設定し、担い手に農地を集積して行くこと、将来的な耕作放棄地増加防止を図り、様々な支援施策を受けることができます。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	農地の利用権設定を行うためには、農地の現状調査や相続確認等業務量が多いですが、設定することで耕作放棄地増加防止を図り、農地の有効活用が図られます。
事業の問題・課題	農家の高齢化等により遊休農地が全体的に増加傾向であるが、これからの農地の担い手の借りたい農地と条件が一致しないことケースが増加しつつあります。また、農地の相続を地権者が行っていないことも多くなってきています。			
前年度の改善案	農地中間管理事業と関連し、地域農業の今後を考える人・農地プランを地域で作成することを推進し、今後の農地集積について事前に地域内の合意を取り付け、事業が円滑に推進できるようにしています。			
具体的な改善案	農地の担い手の希望するような農地に整備することや、農地の相続について地権者への啓蒙活動を行い、農地集積をさらに加速化することが必要と考えます。			

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	農地中間管理機構を通じた利用権設定の実績が今後の各種補助事業の実施に採択要件となることが考えられるため、引き続き推進する必要がある。
------	------------------------	----	--

番号	課名	グループ名
E - 17	農林振興課	有機農業推進室

事務事業名		ほんまもの里うすき農業推進協議会補助金						新規・継続	継続	
								ソフト・ハード	ソフト	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-23	「有機の里うすき」の実現							
	関連施策名 (施策コード)	I-1-1	安心安全で健康な「食」の推進							
基本項目	事業内容 (経緯)	<p>臼杵市の持つ農業生産基盤をより活用した農産物を生産し、安全で安心な「ほんまもの里・うすき」ブランド確立を目指すため、農家、消費者、大分県農協、大分県、臼杵市、臼杵市議会、農業委員会、環境保全型農林振興公社、野津土地改良区が連携し、「環境保全型農業の推進」「競争力のある産地づくり」「地産地消の推進」を柱として協議会で活動を行っています。</p> <p>「旬食フェスタ」の『食うちミシュラン』との合同開催やCATVの「ほんまもんごはん」の放送（レシピの市報掲載）、3歳6ヶ月児健診でのほんまもん農産物の試食・試供品配布により広く周知を行いました。また、臼杵市PTA連合会研修会で「100年ごはん」の上映会を行いました。</p>								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値	
					H25	H26	H27			
		①	ほんまもん農産物認証シール配布数	金、緑の認証シール配布数	枚	141,944	114,761	134,034	133,368	200,000
		②	給食地元野菜使用率	野菜の全体重量における臼杵産の割合	%	45	40	38	38	50
③	オーナー農園参加者	玉ねぎ、甘藷、馬鈴薯のオーナー口数	口	444	394	402	372	500		
④	子どもの農業体験数	植付体験、収穫体験等の農業体験回数	回	19	12	16	21	20		
事業対象	生産者・消費者（市民）	成果	子どもの収穫（植付）体験の充実や子育て世代へのPRにより「ほんまもん農産物」の認知度が向上しています。3歳6ヶ月児健診時でのアンケート結果では、平成27年度52%、平成28年度72%と20ポイント上昇しています。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値		
				H25	H26	H27				
	ほんまもん農産物生産者数	ほんまもん農産物生産者数	人	50	32	36	42	40		

コスト 事業費+人件費	フルコスト（千円）	内訳	国庫補助金（千円）	県補助金（千円）	市債（千円）	使用料・手数料・その他（千円）	一般財源（千円）
	10,598						10,598

評価の視点	必要性	<p>目的が市民ニーズに照らして妥当か</p> <p>A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない</p>	「ほんまもの里・うすき」ブランド化を推進するためには、PR促進と農産物の安定供給が必要です。
	有効性	<p>目的や目標に照らして予想される効果が得られるか</p> <p>A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない</p>	旬食フェスタや市内イベントでのPRや全国での映画「100年ごはん」上映会等により、ほんまもん農産物等の有機農業の取組みの認知度が広がっています。
	効率性	<p>行政資源量（特にコスト）に対し合った効果があるか</p> <p>A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ない</p>	協議会として、市及び農協の補助金を活用し、幅広い取り組みを効率的に運用しています。
事業の問題・課題	生産者と販路の拡大は必要と考えます。		
前年度の改善案	ほんまもん農産物お届け隊制度（研修制度）の見直しと販売先への商談を実施しました。		
具体的な改善案	地域おこし協力隊員2名が3年後の新規就農に向け有機農業研修を実践しています。また、大分市の百貨店での「ほんまもん農産物」の販売を開始しました。		

課長評価	現状のまま継続する（継続）	理由	「ほんまもの里・うすき」ブランド確立に向け、生産者数の増加や販路の拡大、更にはPRを今後も積極的に行う必要がある。
------	---------------	----	---

臼杵市 事務事業評価シート
(平成 28 年度)

番号	課名	グループ名
E - 18	農林振興課	有機農業推進室

事務事業名	ほんまもんの里農業推進センター指定管理委託事業						新規・継続	継続		
	ソフト・ハード		ソフト							
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	IV-11-23 「有機の里うすき」の実現								
	関連施策名(施策コード)	I-1-1 安心安全で健康な「食」の推進								
基本項目	事業内容(経緯)	ほんまもん農業(有機農業等)の農業推進を図ることを目的としているほんまもん農業推進センターの設置理念に基づき、適正な管理運営を委託しています。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値	
					H25	H26	H27			
		①	施設利用回数	施設利用回数	回		75	80	91	80
		②								
		③								
	④									
	事業対象	市民	成果	職員の業務が軽減することに加え、センターをより効果的、弾力的に管理運営することが可能になっています						
	成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値	
					H25	H26	H27			
	施設利用者数	施設利用者数	人		1,577	1,363	1,049	1,500		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	5,586					95	5,491

評価の視点	評価	判断基準		理由	
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か			施設を利用する市民に偏りがあるため、今後は幅広い方々に利用していただけるよう改善する必要があります。
		B	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない		
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか			ほんまもん農業の拠点施設として、各種イベント等にも利用されています。
A		A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない			
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか			施設の中には、うまく利用できていない設備があるため、今後は利用方法等について検討する必要があります。	
	B	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない			
事業の問題・課題	施設の利用者に偏りがあり、利用する設備にも偏りがあります。幅広い方々に利用していただくことや、利用されていない設備を有効利用することが課題となります。				
前年度の改善案	広報等により、幅広い方に施設を知ってもらう。五右衛門風呂やかまどなどの体験用設備をうまく利用してもらえるような企画を提案する。				
具体的な改善案	指定管理については平成28年度までとし、平成29年度は直営で運営しながら今後の運営方針について検討する。				

課長評価	見直し(縮小、休止、廃止)を検討する(見直し)	理由	センターの更なる利用を目指すため、施設全体の設備について再調査を行い、新たな利用方法を検討する必要がある。
------	-------------------------	----	---

臼杵市 事務事業評価シート
(平成 28 年度)

番号	課名	グループ名
E - 19	農林振興課	有機農業推進室

事務事業名	臼杵市有機農業起業者誘致奨励金事業						新規・継続	継続		
	ソフト・ハード	ソフト								
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	IV-11-23 「有機の里うすき」の実現								
	関連施策名(施策コード)	I-1-1 安心安全で健康な「食」の推進								
事業内容(経緯)	日本農林規格に定められた有機農産物を生産しようとする新規就農者に対し、経営を開始した年度から3年以内に有機JAS規格の認定を取得することを条件に3年間奨励金を交付します。									
基本項目	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値	
					H25	H26	H27			
		①	奨励金交付額	奨励金交付額	千円	3,000	2,000	2,000	2,000	3,000
		②								
		③								
		④								
事業対象	有機農業での新規参入企業又は個人	成果	有機農業への誘致促進となり、新規就農者が年々増加しています。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値		
				H25	H26	H27				
	有機農業での参入者数	有機農業での参入者数	件	4	4	5	7	7		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	2,290						2,290

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		有機農業での新規参入があることで、農地の環境がまもられる上、遊休農地の解消にもつながります。
	A	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない		
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		市が有機農業に対して支援をする姿勢を見せることにより、参入企業が臼杵市を選びやすくなっています。
A	A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない			
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		3年間奨励金を交付しても、その後長く臼杵市で営農してもらうことで、奨励金以上の効果が得られます。	
A	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない			
事業の問題・課題	企業による新規参入により、優良な圃場から利用するため、地元の農家が新しく畑を探してもよい畑がなくなってきています。また、都市部などより企業が参入することにより、地元の農家とトラブルになるケースがあります。			
前年度の改善案	大分県等に有機での企業参入の話があった際には、どんな企業でも受け入れるのではなく、これまで以上に企業について協議検討し、長期的に臼杵市でしっかりと有機農業をしてもらえそうな企業かどうかを見定める。			
具体的な改善案	引き続き前年度の改善案を実施する。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	「有機の里づくり」を目指す本市にとって、有機農業者の育成は不可欠であり、引き続き支援が必要です。
------	---------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(平成 28 年度)

番号	課名	グループ名
E - 20	農林振興課	有機農業推進室

事務事業名	農林公社運営支援補助事業							新規・継続	継続	
	ソフト・ハード	ソフト								
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	IV-11-23 「有機の里うすき」の実現								
	関連施策名(施策コード)	I-1-1 安心安全で健康な「食」の推進								
基本項目	事業内容(経緯)	公益社団法人臼杵市環境保全型農林振興公社の取り組む各種事業は、環境保全、土づくり、有機農業を目指す農家を支援することを目的に実施するものです。よって農林公社が事業を円滑に実施できるよう、補助金を交付します。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値	
					H25	H26	H27			
		①	有機堆肥等散布	有機堆肥等散布	ha	117	98	105	81	100
		②	うすき夢堆肥散布	うすき夢堆肥散布	ha	37	37	41	45	40
		③	稲わら等梱包	稲わら等梱包	ha	19	15	15	11	15
	④	田畑耕起	田畑耕起	ha	30	16	13	5	15	
	事業対象	市内農家	成果	オペレーターや事務職員を適正に配置することができ、農林公社の各種事業が円滑に実施されます。						
	成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値	
					H25	H26	H27			
	当期収支決算額	当期収支決算額	円	3,104,282	3,444,196	534,903	730,684	500,000		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	12,118						12,118

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		農家の高齢化等により、農林公社の堆肥の運搬散布や田畑耕起などの各種事業は年々必要性が増しています。
		A	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		必要なオペレーターの数を確保するなど、安全面にも十分に配慮できることにより、農家の希望どおりの日程で事故無く作業ができます。
A		A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		臼杵市内の農地を熟知し、農協と共同出資している農林公社が各種事業を行うことでより効率的な	
	A	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題	農家の減少などにより農作業受託等の収入が減少傾向にある。			
前年度の改善案	-			
具体的な改善案	市報等により広報を行い、農作業受託等の収入を維持する。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	農家の高齢化に伴い、堆肥の運搬散布などの作業委託の要望は続くため、今後も引き続き農林公社を支援する必要がある。
------	---------------	----	---

臼杵市 事務事業評価シート
(平成 28 年度)

番号	課名	グループ名
E - 21	農林振興課	有機農業推進室

事務事業名	土づくりセンター管理・運営事業						新規・継続	継続		
	ソフト・ハード	ソフト								
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	IV-11-23 「有機の里うすき」の実現								
	関連施策名(施策コード)	I-1-1 安心安全で健康な「食」の推進								
事業内容(経緯)	持続可能な農業振興、おいしくて安全・安心な農産物の提供のためにはミネラル豊富な良質の土が必要であるため、より自然に近い堆肥を人工的に生産し安全・安心で健全な農業振興を図ります。									
基本項目	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値	
					H25	H26	H27			
		①	うすき夢堆肥製造量	うすき夢堆肥製造量	t	1,260	1,723	1,425	1,672	1,600
		②								
		③								
		④								
事業対象	臼杵市民		成果	健全な土づくりに必要な完熟堆肥を安定して供給することができます。						
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値		
				H25	H26	H27				
		うすき夢堆肥販売量	うすき夢堆肥販売量	t	1,360	1,523	1,560	1,822	1,600	

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	36,853					10,841	26,012

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	安全で安心な農作物を供給するためには、堆肥を利用した有機農業が求められ、地産・地消で臼杵市の農業の活性化を図る必要があります。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	事業実施により、有機栽培された農作物の地域ブランド化を図り、農業所得の向上効果が予測されます
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	地域資源を有効活用した有機堆肥の供給により地域の活性化が図られます。今後コストは増やさず堆肥の製造、販売量を計画値まで増やせば効率性は今よりも改善されます。
事業の問題・課題	高い品質での安定的な堆肥の製造。 原材料の安定的な仕入れ。			
前年度の改善案	平成27年度より取り入れた戻し堆肥について、良く研究し堆肥の質と量を両立できるようにする。			
具体的な改善案	製造方法の工夫により生産量と品質の両立が可能になってきた。 原材料を安定的に仕入れるために、新たな契約先を模索する。			

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	有機堆肥の生産・販売は農業の基盤となる土づくりには必須のものであり、「夢堆肥」を使った、安全・安心な農産物の生産は農業振興に不可欠である。
------	------------------------	----	---

番号	課名	グループ名
E - 22	農林振興課	農林基盤整備室地籍

事務事業名		多面的機能支払交付金事業						新規・継続	継続	
								ソフト・ハード	ソフト	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-22	農林業の経営基盤強化と担い手育成							
	関連施策名 (施策コード)	II-5-11	地域内交流・地域間連携							
基本項目	事業内容 (経緯)	<p>農業・農村が有する多面的機能（国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成等）の維持・発揮を図るために、地域の共同活動（水路・農道の維持管理等）に係る支援を行い、担い手農家への農地集積という構造改革の後押しを図るものです。大きくは、「農地維持支払交付金」（農道の草刈・水路の泥上げ等）と「資源向上支払交付金」（水路・農道・ため池の軽微な補修等）の2つから構成されます。今年度は、この事業に取り組む活動組織が52組織から4組織増え、56組織で地域の農地維持活動に取り組んだ。また、関心のある7地区へ、事業の内容について説明を行いました。</p>								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値	
					H25	H26	H27			
		①	活動組織への説明会開催回数	実績報告や活動内容についての説明会開催回数	回	4	4	4	4	4
		②	事業の周知	未取組地区への事業内容等の周知	回	1	3	1	1	1
		③								
	④									
事業対象	市内各地域の農用地・農業用施設	成果	既に取組んでいる組織は、活動を計画どおり行い、地域の農地維持・景観形成が図られた。また、新たに4組織が活動を始めました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値		
				H25	H26	H27				
	協定農用地面積	交付金の算定根拠となる農用地の面積	ha	583	658	669	709	700		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	39,295						39,295

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	各地区住民(主に農業者)がまとまって、地区の農用地や関連施設を維持・保管理する活動に役立っています。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	計画に基づいた適切な活動(農用地及び農業用関連施設の維持管理)が実施されています。
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	市の負担は全体事業額の1/4で、農用地や農業用施設の維持・管理・補修が計画的に行われており、多面的機能の維持保全ができています。	

事業の問題・課題	各地区の担い手を継続的に確保できなければ、農村環境の維持・保全が徐々に困難になっていきます。
前年度の改善案	この事業を推進する上で最も課題になるのは、当該地区にこの事務処理を担える人材がいるかどうかです。この課題を解決するために青年就農給付金や中山間地域直接支払交付金といった他事業との連携を図り、各地区で事務処理を行うことのできる人材(担い手)の発掘を行いました。
具体的な改善案	県多面的機能支払推進協議会(土地連)や県中部振興局と連携し、より多くの地区がこの事業に取り組むよう、説明会の実施等の働きかけをしました。(平成27年度中に2団体増え、合計52団体がこの事業を活用しています)。

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	農業者を中心に地区住民がまとまって、農地や農道・水路等の施設の維持保管理に取り組むことで農村環境の保全に役立っているため、引き続き推進していきます。
------	---------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(平成 28 年度)

番号	課名	グループ名
E - 23	農林振興課	農林基盤整備室

事務事業名	農業基盤整備促進事業（八里合地区）						新規・継続	継続	
							ソフト・ハード	ハード	
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	IV-11-22 農林業の経営基盤強化と担い手育成							
	関連施策名(施策コード)								
基本項目	事業内容(経緯)	既設用水路は約4km上流の頭首工から取水しており、施設の老朽化が著しく維持管理が困難なため、河川よりポンプアップで取水を行い、用水路のパイプライン化を行っています。							
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値
					H25	H26	H27		
		① 実施事業費		千円			50,246	39,480	
		②							
	③								
④									
事業対象	農業従事者	成果	今年度取水から貯水槽までの整備が完了し、来年度完成へ向け着実に進んでいます。						
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値	
				H25	H26	H27			
	事業進捗率	単年度実施事業費÷全体事業費	%			36	25		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	42,321		21,710	5,910	11,400	535	2,766

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		受益者に偏りはありますが、中山間地域での耕作地の維持保全が必要です。
		B	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		農業生産の安定のための工事であり、実施すれば直ちに効果を得られます。
A		A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		施設整備を行うことで、農業生産性の向上と維持管理の軽減が図れるため効率性は高いです。	
	A	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題	特にありません。			
前年度の改善案	特にありません。			
具体的な改善案	地元関係者との連携を密にし事業を進めていきます。			

課長評価	事業目的達成による完了・完了予定(完了)	理由	受益者は早期の完成を望んでいるため、来年度内の完了へ向け進めたい。
------	----------------------	----	-----------------------------------

臼杵市 事務事業評価シート
(平成 28 年度)

番号	課名	グループ名
E - 24	農林振興課	農林基盤整備室

事務事業名	地域農業水利施設ストックマネジメント事業							新規・継続	継続	
								ソフト・ハード	ハード	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-22	農林業の経営基盤強化と担い手育成							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	用水路の老朽化により農業用水の安定供給に問題が生じ、施設の管理についても多大な労力を費やしているため、計画的な水利施設の整備を行い、維持管理費の節減と地域農業の生産性を向上させます。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値	
					H25	H26	H27			
		①	実施事業費	用水路・頭首工等の修繕事業費	千円	-	-	10,010	14,009	80,000
		②								
③										
④										
事業対象	農業従事者	成果	老朽化した水利施設の整備により、農業用水の安定供給につながります。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値		
				H25	H26	H27				
	事業進捗率	単年度実施類型事業費÷ 全体事業費	%	-	-	13	30	100		

コスト 事業費+人件費	フルコスト (千円)	内訳	国庫補助金 (千円)	県補助金 (千円)	市債 (千円)	使用料・手数料・その他 (千円)	一般財源 (千円)
	15,169		9,800		3,500	700	1,169

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	農業に必要な水利施設の整備であり、必要不可欠です。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	老朽化した水利施設の整備であり、実施すれば用水の安定供給に効果を発揮します。
効率性	行政資源量（特にコスト）に対し合った効果があるか	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	計画的な水利施設の整備を行うことで、維持管理費の節減と地域農業の生産性を向上させます。	
事業の問題・課題	予算に対して要望箇所が多く、対応しきれない面があります。			
前年度の改善案	緊急度や効果により優先順位を決めて計画的に実施しています。			
具体的な改善案	緊急度や効果により優先順位を決めて計画的に実施します。			

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する（重点継続）	理由	水利施設の維持管理費の節減と地域農業の生産性の向上のため必要である。
------	------------------------	----	------------------------------------

番号	課名	グループ名
E - 25	農林振興課	農林基盤整備室

事務事業名		農業水利施設保全合理化事業（石場ダム）						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ハード	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-22	農林業の経営基盤強化と担い手育成							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	石場ダムの用水施設・管理省力化施設は、昭和46年に建設され、これまで約45年が経過し、施設の老朽化により補修や維持管理に多大な労力を要している。農業水利施設保全合理化事業により維持管理費の節減及び施設の機能回復を行い、農業生産の維持及び農業経営の安定を図ります。 石場ダムの余水吐において、老朽化した減勢池の改修工事をH28年、H29年の2カ年に分割して工事を行っています。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値	
					H25	H26	H27			
		①	事業費負担額	負担金額	千円	-	-	9,369	31,227	16,455
		②								
	③									
④										
事業対象	農業従事者	成果	老朽化した用水施設の整備により、維持管理費の軽減及び施設の機能回復により農業生産の維持及び農業経営の安定を図ります。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値		
				H25	H26	H27				
	工事の進捗率	当該年度事業費/全体事業費	%	-	-	14	60	100		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	33,546				19,800	9,945	3,801

評価の視点	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	理由
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	老朽化した用水施設の整備であり、実施すれば農業生産の維持及び農業経営の安定に効果を発揮します。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	計画的に用水施設の整備を行うことで、維持管理費の軽減と農業経営を安定させます。
事業の問題・課題	特になし		
前年度の改善案	なし		
具体的な改善案	なし		

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	老朽化した石場ダムの用水施設の計画的な整備により、維持管理費の節減と地域農業の生産性を向上させます。
------	---------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(平成 28 年度)

番号	課名	グループ名
E - 26	農林振興課	農林基盤整備室

事務事業名	農業用施設改良資材費(生コンクリート)支給事業						新規・継続	継続		
						ソフト・ハード	ハード			
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	IV-11-22	農林業の経営基盤強化と担い手育成							
	関連施策名(施策コード)									
基本項目	事業内容(経緯)	市内の各地区より農道の補修、整備の要望があった場合、公共工事として施工することが困難な事案については、それぞれの地区より原材料(生コンクリート等)の支給申請書を提出してもらい、各地区で補修、整備を行っていただいています。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値	
					H25	H26	H27			
		①	申請地区に対する支給地区数	申請地区に対して実際に支給を行った地区	地区	101	102	104	100	-
		②								
③										
④										
事業対象	農道利用者	成果	公共工事の及ばない道路の補修、整備を行うことができました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値		
				H25	H26	H27				
	申請地区に対する支給率	申請地区に対して実際に支給を行った割合	%	100	100	100	100	-		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	23,965						23,965

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		公共工事の及ばない農道の補修、整備が原材料の支給により実施できるので必要な事業とと思われます。
		A	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		公共工事の及ばない農道の補修、整備が原材料の支給により地区内の道路が整備されるため、利便性の向上が図られます。
A		A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		公共工事として施工せず、原材料の支給のみとしていることから、工事に係る諸経費を削減できています。	
	A	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題	農村地域の後継者不足や高齢化により、原材料支給での農業用施設を整備することが困難になると思われます。			
前年度の改善案	特にありません。			
具体的な改善案	今後、農業用施設の事業化の検討を行います。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	農道の舗装を地元施工により実施することで、通行者の安心・安全を確保でき、今後も必要な事業です。
------	---------------	----	---

番号	課名	グループ名
E - 27	農林振興課	農林基盤整備室

事務事業名		農業用施設整備工事						新規・継続	継続	
		ソフト・ハード		ハード						
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	IV-11-22 農林業の経営基盤強化と担い手育成								
	関連施策名(施策コード)									
基本項目	事業内容(経緯)	農業用施設(農道、水路、ため池等)の整備、修繕等を地元要望により実施します。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値	
					H25	H26	H27			
		①	工事件数	整備・修繕等の工事件数	件	13	24	18	26	
		②								
		③								
④										
事業対象	農業従事者	成果	整備工事等により、機能回復機能改善され、農業生産の安定、拡大につながります。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値		
				H25	H26	H27				
	実施率	工事実施箇所÷当該年度要望箇所数(補修要望があり市が工事する必要がある箇所)	%	86	77	69	90			

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	13,289						13,289

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		農業に必要な施設の整備であり必要不可欠です。
	A	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない		
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		農業生産安定のための工事であり、実施すれば直ちに効果を得られます。
A	A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない			
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		施設整備を行うことにより、維持管理の低減と農業生産の安定、向上が図れるため、効率性は高いです。	
A	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない			
事業の問題・課題	予算に対し要望が多いため、実施率が100%を達成出来ません。			
前年度の改善案	必要性や優先性を見極め、計画的に実施します。			
具体的な改善案	必要性や優先性を見極めた上でコストダウンに努め、要望箇所を1件でも多く出来るようにします。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	農業用施設の整備は、農業生産の安定や生産性の向上に欠かせないものであり、引き続き取り組んでいきたいと考えています。
------	---------------	----	---

番号	課名	グループ名
E - 28	農林振興課	農林基盤整備室

事務事業名	農村振興総合整備事業		新規・継続	継続
			ソフト・ハード	ハード
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-22	農林業の経営基盤強化と担い手育成	
	関連施策名 (施策コード)			

基本項目	事業内容 (経緯)	臼杵市では、後継者不足や高齢化により農業及び農村を取り巻く状況が厳しくなっており、耕作放棄地や遊休農地の増加に伴い、農業のもつ公益機能や集落機能の低下が進行しています。農村振興総合整備事業により、生産基盤や農村生活環境の整備を総合的に行い、農作業の省力化や合理化を進めています。 藤河内、江無田、井村前田地区において農道整備を行い、江無田地区において農業用排水施設整備を行い、立目・六反田地区において圃場整備を行い、広原、搔懐、中對田、栗手原地区において、暗渠排水整備を行っています。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値	
					H25	H26	H27			
		①	事業費負担額	負担金額	千円	95,765	19,162	37,207	14,250	
		②								
	③									
④										
事業対象	農業従事者	成果	農村地域の公益機能・集落機能が保たれ、農作業の省力化や合理化が図られます。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値		
				H25	H26	H27				
	工事の進捗率	過年度事業費/全体事業費	%	65	74	93	96	100		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	16,569				5,700	893	9,976

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		農村地域の公益機能・集落機能を保つためには、農村地域の一体的な整備を図ることが必要不可欠です。
		A	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		農村地域の公益機能・集落機能を保つための工事であり、実施すれば直ちに効果が得られます。
A		A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		整備を行うことにより、維持管理の軽減と農業生産の向上が図れるため、効率性は高いです。	
	A	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題	総事業費に対し、国県の予算措置が少ないため、事業完了が遅れています。			
前年度の改善案	事業主体の大分県に対し、予算の確保と早期完成の要望を行っていきます。			
具体的な改善案	事業着手までの地元調整は臼杵市が行うことから、大分県が予算確保でき次第、早期に事業着手出来るように調整を行う。			

課長評価	事業目的達成による完了・完了予定(完了)	理由	本事業において完了の目処がつかしました。ただし、市民からのニーズが高い事業であるため、引き続き第2期として県に要望し取り組んでいきたいと考えています。
------	----------------------	----	---

番号	課名	グループ名
E - 29	農林振興課	農林基盤整備室

事務事業名		ため池周辺環境整備事業						新規・継続	継続
						ソフト・ハード		ハード	
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	Ⅲ-8-15 防災・減災のための整備							
	関連施策名(施策コード)								
基本項目	事業内容(経緯)	ため池への落下事故を踏まえ、ため池への落下防止のために防護柵や看板を購入するとともに、接道しているため池に対して安全施設整備工事を行うものです。							
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値
					H25	H26	H27		
		① 実施事業費		千円	-	-	7,352	3,959	-
		②							
③									
④									
事業対象	ため池周辺住民	成果	ため池への落下事故を防ぎ、安全な水利環境を整えることができました。						
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値	
				H25	H26	H27			
	事業進捗率	実施事業費÷予算額	%	-	-	92	99	-	

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	6,278						6,278

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	ため池周辺の住民に対する生活上の安全を確保しようとするもので、必要性は極めて高い。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	誤って転落する可能性をなくすことができ、有効性は高い。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	柵や看板の設置等により、直接転落を防止することができ、効率性が高い。
事業の問題・課題	ため池は地元水利組合が管理しており、安全面よりも維持管理面を優先して考えられる為、市と地元水利組合との温度差があり、市からの安全対策の提案が受け入れてもらえない箇所があります。			
前年度の改善案	維持管理面と安全面の両面を考えて、対策を検討することが必要となります。			
具体的な改善案	安全対策を行うことにより維持管理が困難になるため池については、維持管理が困難にならないようにため池整備を行うことが必要となります。			

課長評価	事業目的達成による完了・完了予定(完了)	理由	防護柵等の安全施設を要するため池の整備は平成28年度をもって完了しました。
------	----------------------	----	---------------------------------------

臼杵市 事務事業評価シート
(平成 28 年度)

番号	課名	グループ名
E - 30	農林振興課	農林基盤整備室

事務事業名	林道補修資材費(生コンクリート)支給事業						新規・継続	継続		
							ソフト・ハード	ハード		
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	IV-11-22	農林業の経営基盤強化と担い手育成							
	関連施策名(施策コード)									
基本項目	事業内容(経緯)	市内の各地区より林道の補修、整備の要望があった場合、公共工事として施工することが困難な事案については、それぞれの地区より原材料(生コンクリート等)の支給申請書を提出してもらい、各地区で補修、整備を行っていただいています。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値	
					H25	H26	H27			
		①	申請地区に対する支給地区数	申請地区に対して実際に支給を行った地区	地区	45	40	43	41	-
		②								
	③									
	④									
事業対象	農道利用者	成果	公共工事の及ばない道路の補修、整備を行うことができました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値		
				H25	H26	H27				
	申請地区に対する支給率	申請地区に対して実際に支給を行った割合	%	100	100	100	100	-		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	7,290						7,290

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		公共工事の及ばない林道の補修、整備が原材料の支給により実施できるので必要な事業とされます。
		A	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		公共工事の及ばない林道の補修、整備が原材料の支給により地区内の道路が整備されるため、利便性の向上が図られます。
A		A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		公共工事として施工せず、原材料の支給のみとしていることから、工事に係る諸経費を削減できています。	
	A	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ない		
事業の問題・課題	農村地域の後継者不足や高齢化により、原材料支給での林道を整備することが困難になるとされます。			
前年度の改善案	特にありません。			
具体的な改善案	今後、林道補修の事業化の検討を行います。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	林道の舗装を地元施工により実施することで通行者の安心・安全を確保でき、今後も必要な事業です。
------	---------------	----	--

番号	課名	グループ名
E - 31	農林振興課	農林基盤整備室(林業)

事務事業名		有害鳥獣捕獲事業						新規・継続	継続	
								ソフト・ハード	ハード	
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	VII-20-50	多様で健全な森林への誘導							
	関連施策名(施策コード)									
基本項目	事業内容(経緯)	有害鳥獣(イノシシ、シカ、サル、小動物等)の被害に対して、猟友会への捕獲依頼、獣害防護柵設置、電気柵設置などの事業を行いました。農林業生産者の生産意欲の向上促進のため、農産物等の被害軽減を図りました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値	
					H25	H26	H27			
		①	有害鳥獣捕獲による被害の防止	有害鳥獣による農林業作物の被害減少を行い生産意欲の向上を図る	頭	2,188	2,977	3,542	4,491	4,600
		②	鳥獣侵入防護柵設置による被害の減少	有害鳥獣による農林業作物の被害減少を行い生産意欲の向上を図る	件	19	32	27	9	10
③	電気柵設置による被害減少	有害鳥獣による農林業作物の被害減少を行い生産意欲の向上を図る	件	46	45	46	35	40		
④										
事業対象	農林業者	成果	有害鳥獣捕獲については、前年比の捕獲数が伸びており被害の減少が図られています。侵入防護柵は、9地区で設置を行いました。電気柵設置についても35件の補助を行い被害減少が図られています。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値		
				H25	H26	H27				
	農林作物の被害金額	有害鳥獣による農林業作物の被害減少を行い生産意欲の向上を図る	千円	5,762	6,448	9,560	4,978	5,400		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	40,499			26,663			13,836

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		農林業生産者の経営基盤を構築し、活力ある農林業を行うため有害鳥獣捕獲、侵入防護柵設置、電気柵設置を継続的に行う必要があります。
		A	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		捕獲、侵入防護柵、電気柵を組み合わせることにより鳥獣被害から田・畑・山林を守り経営の健全化、所得の向上等が図られ効果が得られます。
A		A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		有害鳥獣捕獲事業、電気柵事業(県1/3、市1/3)、侵入防護柵事業(国100%)についてはの交付金事業等で行っており被害減少にともなう農林業生産性の向上が図られており効果はあります。	
	A	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題	捕獲事業については、猟友会会員の高齢化による減少及び銃保持者が減少が課題である。侵入防護柵については交付金内で設置を行うため設置待ちの地区解消などが課題である。			
前年度の改善案	狩猟免許取得の費用を補助し人員の確保を行う。柵設置については市単独事業を試案中である。			
具体的な改善案	捕獲事業について狩猟免許講習会の費用を補助し人員の確保を行う。防護柵設置事業についてコストダウンを図り、要望地区を1件でも多くできるようにする。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	猟友会の協力により、有害鳥獣捕獲による被害減少の効果は出ており、また、侵入防護柵、電気柵の設置により獣害対策に有効です。
------	---------------	----	--

番号	課名	グループ名
E - 32	農林振興課	農林基盤整備室(林業)

事務事業名		森林整備事業						新規・継続	継続	
								ソフト・ハード	ソフト	
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	VII-20-50	多様で健全な森林への誘導							
	関連施策名(施策コード)	VII-20-49	CO2削減に向けたまちづくりの推進							
基本項目	事業内容(経緯)	森林・林業の再生に向け、平成24年度に「臼杵市森林整備計画」を樹立させた。この計画を臼杵市の森林整備のマスタープランと位置付、森林の経営者による40年間の長期計画及び5年ごとの実施計画を盛り込んだ「森林経営計画」の作成が必要となりました。しかしながら、本市での経営計画達成率は、以前低く経営計画作成推進は急務であります。また、市・議会・自治会・森林所有者と取り組んでいます水源涵養の維持・増進を図る施策については、今後も継続して取り組んでいきます。「100年の森林づくり」を実施するための、ランドデザイン(臼杵市森林整備計画案)の作成及び臼杵市木材カスケードセンターの実証試験の実施を行いました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値	
					H25	H26	H27			
		①	森林経営計画の推進	臼杵市森林整備計画に基づく森林経営者への経営計画作成推進面積	ha	5,617	5,967	6,526	6,726	18,981
		②	水源涵養維持増進に向けた森林整備	臼杵市水源涵養の森林づくりモデル地域内での森林整備面積	ha	9	34	37	58	100
	③	臼杵市有林の整備	臼杵市森林整備計画及び森林経営計画に基づく市有林の整備面積	ha	86	50	57	45	30	
④										
事業対象	森林経営者	成果	森林経営計画の作成推進において、民間の協力により200haの合意形成を得られました。しかし現在の森林整備を維持するにあたり、作業班員等の確保が重要であり、今後の課題となっています。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値		
				H25	H26	H27				
	森林経営計画の作成推進	森林経営計画認定面積	ha	5,617	5,967	6,526	6,726	18,981		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	37,112			3,864		1,222	32,026

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	森林経営計画の作成がない森林においては、補助事業の対象とならず森林整備の遅れにつながると考えます。早急な推進を実施し森林経営計画の作成が森林整備の加速化につながります。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	森林経営計画の作成により長期的な整備計画が可能となります。また、モデル地域を設定することにより臼杵市の水源が保たれます。
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	森林の所有者情報や境界の確定が遅れているため情報の収集や調査方法の検討が急務である。	
事業の問題・課題	担い手不足や素材生産業者の人員確保に早急に努める必要がある。			
前年度の改善案	森林整備の意義を周知し、施工費用や木材売り払い収入の見える化に取り組み森林所有者への合意形成を取り付ける。			
具体的な改善案	森林のマスタープラン(臼杵市森林整備計画)をデーター及び現況を基に実現可能な計画書の作成を行えた。この計画書に基づき年間の森林整備面積や搬出量の目安を行い効率的な森林整備につなげたい。継続して、収入の見える化に取り組み、森林経営者に対して森林整備の意識増進を図りたい。			

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	近年、分収造林の期限完了月日を向かえる森林が多く、皆伐を避けるため長伐期施業の方法で100年の森へと誘導し自然景観形成をなすよう整備に取り組み必要がある。
------	------------------------	----	---

番号	課名	グループ名
E - 33	農林振興課	農林基盤整備室 林業

事務事業名		竹林再生事業						新規・継続	継続	
								ソフト・ハード	ソフト	
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	VII-20-50	多様で健全な森林への誘導							
	関連施策名(施策コード)									
基本項目	事業内容(経緯)	臼杵市には広大な竹林がありますが、現在その大部分が荒廃竹林として人の手のつかない状況となっています。一度荒廃した竹林を整備することは難しい上に他の土地に侵食し竹林の規模は大きくなり、状況は悪化していきばかりです。このような状況を改善するために、補助事業を活用し整備を行い筍採取等竹林を有効利用できる状態にします。藤河内地域を主として整備を行いました。荒廃した竹林を間伐することで林内に光がさすようになり、筍の発育にとって良い環境をつくることができました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値	
					H25	H26	H27			
		①	竹林再生面積	1年間の施業面積	ha	2	3	2	2	3
		②								
	③									
	④									
事業対象	荒廃竹林	成果	市内八カ所 2.48haの荒廃竹林の整備により、竹林の保全につながっています。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値		
				H25	H26	H27				
	竹林再生面積	1年間の施業面積	ha	2	3	2	2	3		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	4,459			2,723			1,736

評価の視点	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	理由
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	竹林整備を行い、林内環境が改善され筍の収穫がしやすくなり、所有者の竹林を維持に対するモチベーションを高めることができています。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ない	申請書類の作成及び現地確認など、申請者に負担になる事務等がありますので、申請者の負担軽減を図りたい。

事業の問題・課題	筍・竹材の販路がないこと、竹林間伐を行った後の廃材処理、竹林全伐の要望
前年度の改善案	筍・竹材の販売先の確保、商品化。 廃材有効利用(イノシシ柵) 廃材のチップ化(堆肥の材料に利用) 竹林の広葉樹林化についての検討。
具体的な改善案	申請書類の作成及び現地確認など、負担になる事務等を森林組合と連携するなどの検討をして、申請者の負担軽減を図りたい。

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	今後も継続して荒廃竹林を整備することで、筍生産だけでなく、野生動物の棲み処を少なくすることができ、農林産物の獣害減少にも効果があります。
------	---------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(平成 28 年度)

番号	課名	グループ名
E - 34	農林振興課	農林基盤整備室

事務事業名	道路補修工事(野津地域)						新規・継続	継続		
							ソフト・ハード	ハード		
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	VII-21-53	交通安全対策の推進							
	関連施策名(施策コード)									
基本項目	事業内容(経緯)	野津地域内の市道の舗装補修、側溝補修及び小規模改良工事、その他維持補修工事を地区からの要望や突発的な破損等に対し、随時施工しています。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値	
					H25	H26	H27			
		①	工事件数	補修・改良等の工事件数	件数	26	21	23	21	-
		②								
③										
④										
事業対象	市道利用者	成果	道路補修工事により、より安全な通行ができ、道路の排水処理が改善されます。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値		
				H25	H26	H27				
	実施率	工事実施箇所÷当該年度要望箇所(実際に補修要望があったものに対する割合)	%	74	72	41	53	-		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	22,293						22,293

評価の視点	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	理由
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	市民生活に密着した市道の補修であり、必要不可欠です。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ない	市民の安全を守るための補修工事であり、部分的ではあるが、道路機能の向上が図れ、道路機能の長期維持が期待できます。
事業の問題・課題	予算に対して要望箇所が多く、対応しきれない面があります。		
前年度の改善案	コスト削減に努め、優先順位を決めて計画的に実施します。		
具体的な改善案	緊急度や効果により優先順位を決めて計画的に実施します。		

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	通行車の安心・安全を確保するため、今後も必要な事業です。
------	------------------------	----	------------------------------